



鏡野町長
山崎 親男

新年あけましておめでとうござい
ます。

皆様方には、希望に輝く新年をお
迎えることと心からお慶びを申し上
げます。

町民の皆様方には、平素から、町
政運営に対して多大のご理解とご協
力を賜り、心からお礼を申し上げます。

昨年合併十周年を迎え、本年は新
しい十年へ向けて一步を踏み出す年
となります。皆様とともに一層の一
体感ある鏡野町を目指して町政運営
に取り組んでまいりたいと考えてい
るところであります。

さて、町では平成二十六年度から
「健康づくりの推進」を重点施策
に掲げて、各種の事業を進めており
ますが、昨年実施しました「健康
チャレンジ九十日」には千人を超す
皆さんに参加していただき、健康づ
くりに取り組んでいただきました。
一人一人が自分のできることから健
康づくりに取り組んでいただき、大
きな輪となって、町中に広がること
を願っております。
また、一昨年来、まち・ひと・し

ごと創生法による、地方創生が声高
に謳われ、多くの自治体においても、
総合戦略、人口ビジョンが策定され
ているところでです。本町も昨年十月
に策定をいたしました。

人口減少が進む中で、人口減少に
歯止めをかけるとともに、人口減少
社会に的確に対応していくことが求
められております。

このため、総合戦略では「若い世
代の希望をかなえる少子化対策の推
進」「人を呼び込む魅力ある郷土が
みのづくりの推進」に取り組むこと
としております。

さらには、地域が持続的に発展し
ていくためには地域のコミュニティ
が大切であり、信頼関係の醸成され
たコミュニティが形成されることが
望まれます。

現在取り組んでいただいております
す、第二期の未来・希望基金事業に
おいて、各地域で事業を通じて、地
域のきずなをさらに深めていただき
たいと考えております。

人口減少に立ち向かうことは、非
常に困難を伴うものであり、町民の
皆様方とともに取り組まなければで
きないことであります。

どうぞ、本年も引き続きご支援、
ご協力をいただきますようお願いい
たします。

本年が、皆様にとりまして幸多き
年となりますよう心からお祈り申し
上げ、新年のご挨拶といたします。

新年のご挨拶



鏡野町議会議長
小椋 晶志

新年、明けましておめでとうござ
います。

平成28年の年頭にあたり議会を代
表いたしまして、謹んで新春のご挨
拶を申し上げます。

町民の皆様には、希望に満ちた輝
かしい新春をお迎えのことと心から
お慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、
国政では、国民にとって重要な施策
が多く決定又は実施されました。

1月から利用が始まるマイナン
バー（個人番号）の各世帯への通知
が行われ、また、選挙権の年齢が20
歳以上から18歳以上に引き下げられ
た公職選挙法の改正など、中でも終
戦から70年という節目の年に、国会
において安全保障関連法案が審議さ
れ、町議会としては慎重な審議を求
める意見書を国に提出致しました
が、最終的には、国民の十分な理解
が得られないままに可決成立致しま
した。世界各地で過激派組織による
テロが頻発している状況では、日本
も4年後の東京オリンピック開催に
向けて、自国の事として早期の対
策を講じる必要があると考えてい

ます。

一方、本町では合併から10周年を
迎え、更なる発展へのスタートの年
でありました。

国では「地方創生」の推進が打ち
出され、国と地方が情報を共有し、
地方自らの考えで行動し、成果を出
す姿勢が求められている中で、町と
しては「かがみの創生総合戦略」に
より、今後は様々な施策を推進して
行く事になりますが、町民の声を的
確に反映させることが町議会の責務
であると考えております。

新しい年を迎えるにあたり、心を
新たに、わが町の躍進の年とな
るよう、議会も町民の皆様と共に歩
んで参りたいと思います。

この一年が皆様にとって実り多い
年でありますようお祈り申し上げ、
新年のご挨拶といたします。